

## 測定結果について

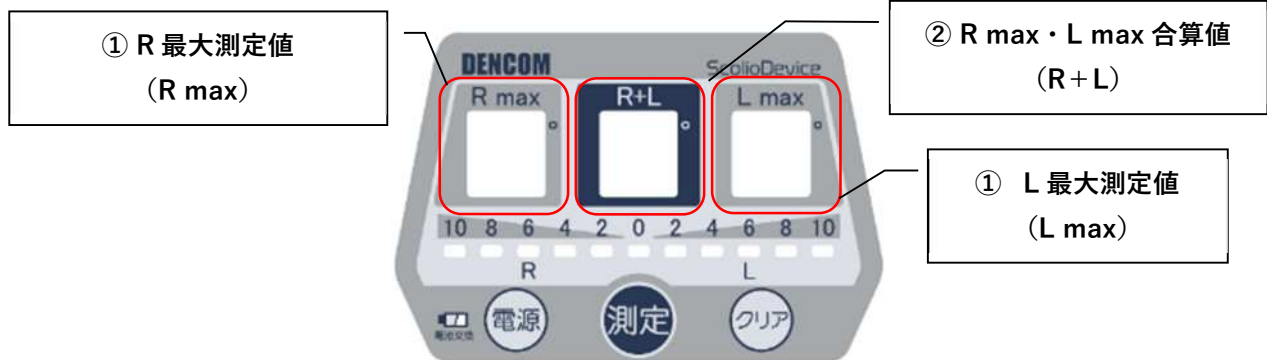
## — 旭川医科大学の研究結果について —

## 傾斜角度と Cobb 角との相関関係

★Cobb 角 20° 以上の検出の条件は、以下のパターンいずれかまたは両方です

パターン①： R 最大測定値 (R max) または、L 最大測定値 (L max) の値が 7 度以上

パターン②： R max、L max の合算値 (R+L) が 10 度以上



表示画面の見かた

脊柱側弯症について長年研究を行ってきた旭川医科大学整形外科脊柱班により、側弯症外来の臨床成績の統計解析から側弯角 (Cobb 角<sup>※1</sup>) 20 度以上を発見するための腰背部傾斜角の上記 2 パターンが見出されました。

“スコリオデバイス”は、このパターンの角度を測定できる角度計です。パターン①、②のいずれかまたは両方に該当する測定結果が見られた場合は、医療機関への受診をご検討ください<sup>※2</sup>。

※1 Cobb 角：上下で最も傾いている背骨同士のなす角度

(引用)：日本側弯症学会「側弯症とは、どんな病気か？」<https://www.sokuwan.jp/patient/disease/index.html> (参照日：2024-07-30)

※2 本デバイスは腰背部の傾斜角度を測定するためのものであり、側弯症であることを断定するものではありません

#### 参考文献

1) 今井 充、神保 静夫、小林 徹也：モバイルデバイスを用いた Intelligent 型脊柱側弯症発見装置(i-Scolioroller)の開発と有用性の検討. Journal of spine Research. 2017 ; 8 (11) : 1720-1725

2) 神保 静夫、今井 充、小林 徹也：脊柱側弯症発見装置(i-Scolioroller)を用いた側弯検診の精度を高める取り組み -左右傾斜角和(sum-ATI)を計測値として-. Journal of spine Research. 2018 ; 9 (11) : 1588-1592

